



第 33 号 発 行 所

〒157-0066
東京都世田谷区成城1-13-1
武蔵工業大学付属中・高等学校内
電話 03-3416-4161
発行責任者 金野和彦
編集責任者 清水茂

はじめまして。みなさまの母校武蔵工大付属中高で、昭和63年から数学教諭をやっております小村達彦と申します。これから、「コムタツ」としてお見知り置きを。最近、日本ボクシングコミッションで、リングアナウンサーの一般公募をしていたので、オーディションを受けたら、何とか合格してしまいました。近い将来、テレビに出ると思うので、応援して下さいね。

今考える本校の二〇〇〇年問題

数学科教諭 小村達彦

（今でも、前座のコールをしていますので、後楽園ホールへお出での節は声をかけて下さい。ただし、罵声、帰れコール、完熟トマトの投げ入れ等は固くご遠慮申し上げます。）さて、今回巻頭を飾らせていただくという大役を仰せつかりました。

て、誠に光栄に存じます。さつそくではございますが、巻頭特別記念問題(?)です。「MM」と聞いて、まず最初に連想するものは何でしょうか。「マジ・ムカツク」と思った人。あなたは、娘さんとコミュニケーション

精神的な成長が不十分な甘えん坊が多いんじゃないか。

次に、「みなとみらい21」だったお父さん、いつも新聞に目を通して「あんたはエライ!」(死語)。え?、ただ横浜に住んでいるだけですか?。もっとも、この計画も、バブルの絶頂期には飛ぶ鳥を落とす勢いだっただけで、超不景気の現在は、シンボルのランドマークタワーもいささか色褪せた感であり、また、いわゆる「MM21線」と呼ばれる「横浜高速鉄道」も、クイーンズスクエアビルの地下3階に、

広大な「みなとみらい中央駅」を建設しただけで工期延期、東急東横線の横浜―桜木町間を廃止して接続し、都心と直結するなんて話もどこへやら。今となつては、しらせムード先行で、「みつびしまるもうけ21」と諷刺するのだとか。(三菱関連の方がいらっやいませ)



たら、平にご容赦ください。では、「ドスミル」と読めた方はいらっやいませ。ローマ数字で「一〇〇〇」を表すアルファベットが「M」で、Mを二つ並べたら、「二〇〇〇」になるわけですね。参考までに、本校の今年度の高校二年の進路通信の題名が「MM」です。これは、ちょうど西暦二〇〇〇年の二、三月に受験を迎えるというのが由来だそうです。最初に、この「ドスミル」が頭に浮かんだあなたはとも博学な方です。正解のあなたには、今ネット界で大流行「ネズミ講」への


平成10年版『同窓会名簿』

昨年9月に新たに発行されました「名簿」が若干事務局に残しております。ご連絡の上、お申し込み下さい。(同窓生限定)

巻頭 想い出の写真20ページ

(付録)付属中学校学級担任一覧表
付属中学校卒業生一覧表
付属高等学校工業課程卒業生一覧表

◆連絡先
同窓会事務局又は阿部まで



誘い・ジャンクメール一年分セット」をプレゼントします。(まるでいにしへのウルトラクイズの優勝商品のような使えなさ。でも、もしかしたら、そのうちのどれかがヒットするかもしれないじゃないですか。…もちろん嘘ですよ、嘘ですってば…)。

さて、今日のテーマは、この「ドスマイル」です。西暦二〇〇〇年まで早いものであと三〇〇〇日を切りました。巷では、「二〇〇〇年問題」なんてものが取り沙汰されています。これは、周知の通り、コンピュータの日付で西暦を表示する部分が下二桁であるがゆえ、「〇〇」と表示された年号をコンピュータが「西暦一九〇〇年」と勘違いして、様々な誤作動を引き起こすというものです。飛行機やホテルの予約などでは、早くも支障を来しているところもあるようですが、幸いにも、一般家庭で使う程度のものならば、決定的な支障はないようです。でも、いずれ、電気店等で、「二〇〇〇年対応パソコン」に切り替えるなら今が買い得/現在お使いのパソコンは二〇〇〇年以降使えなくなりそうです。なんて、山師まがいの便乗商法があちこちで見られるのでしょうか。

本校にも、平成七年四月から、四十八台のウィンドウズ機がずらりと並んだコンピュータールームが新設されました。もちろん、これらのコンピュータも二〇〇〇年対応がなされているわけではありませんから、まあ、必要な部分があれば、一台一台メンテナンスしていくことになるのでしょうか。しかるに、本校の「二〇〇〇年問題」は、実はもっと根本的なところにあるのです。本校でも「二〇〇〇年から是非インターネットを導入しよう」という風が吹き始めてきました。ということは、裏を返せば、未だ導入されていないというわけであり、工業大学の付属でありながら、甚だ遅れていると言わざるを得ません。本校専任教諭のパソコンについての統計(と言ってもたいそうなものではありませんが)を独自に調査してみたところ、パソコン所持者三十名、E-MAIL開設者十名、ホームページ開設者一名という現状です。これは、割合としては、国民全体を母集団とした場合でもそんなに遜色ないものです。ところで、手前味噌で申し訳ないのですが、このホームページ開設者というのが、他ならぬ小生なのであります。

「縁之下研究所(えんのしたけんきゅうじょ)」なるホームページを <http://www.din.or.jp/emostia/> にて管理しております。主な内容というのが、小生の終生の趣味となるであろう鉄道(申し遅れましたが、小生は鉄道研究部の顧問でもあります。)、競馬予想などです。掲示板を設置して、予想大会を開催しております。その参加者に呼びかけてオフ会をある時間催したのです。(念のためにオフ会とは、普段ネット上で情報交換等をしている仲間が、実際に顔を合わせることを「オフライン」が語源。)すると、驚いたことに、何と三十四歳の小生が最年長だったので。ちなみに、もう一ヶ所、別のオフ会にも参加したところ、そこでもやはり最年長だったので。どうやら、インターネットを始め、オンライン上の情報交換やコミュニケーションというものは、随分と若い世代が独占しているようなのです。というより、三十代以上のオジサンは仕事も忙しいし、新しいことを始めるのにもパワーも咀嚼能力も若い者には敵わないから、仕方ないと言えば仕方ないのかもしれないませんが、どうやら、本校の「二〇〇〇年問題」もこんな所に原

因があるようです。本校教職員の平均年齢は、ざっと計算して四十台半ば。ひと頃より若い教員が増えたとはいえ、まだまだ高齢集団です。おまけに一〇〇人にも満たない社会です。なかなか新しいことを始め、それを浸透させていくには難しいものがあるのです。でも、本校にもISDN回線が昨年八月に引かれ、大学のサーバーを利用し、情報処理センターの教授が管理するページながら、ホームページもあるのです。もともと、管理職サイドで情報があまりオープンにされず、存在も知らない先生が多いのが最大の問題なんですけどね。ちなみにURLは、<http://www.musashi-tech.ac.jp/HUZOKU/welcome.htm> です。またこれとは別に日能研が勝手につくったページもあるので、誤情報続出、ページ作成技術も素人同然の劣悪なページで、相手にしない方が無難でしょう。「誤情報を直してくれ」と何度頼んでもなしのつぶて。現在、小生が中心となり、数人の有志(勇士)で「インターネット準備委員会」なるものを設立して、二〇〇〇年度の導入を目指しています。出来る

第23回 総会報告

1997年度(1997年10月1日～1998年9月30日)活動報告

- 97.11.14 第22回総会 於 東急ゴールデンホール
第1号～第5号議案 すべて原案どおり承認されました。
- 懇親会 於 東急ゴールデンホール
- 97.11.29 第1回 理事会 ①総会・懇親会への先生方および会員諸氏の勧誘について
②小委員会の独立性について
③名簿4号体裁について
- 98.1.24 第1回 名簿小委員会 ①表紙体裁検討
- 97.2..20 第2回 理事会 ①名簿4号詳細について 表紙、巻頭記事承認
中学卒業生一覧表、武蔵工業学園卒業生一覧表の取扱いについて
②創立50周年記念行事および実施の場合の時期について
③柏苑祭への参加内容について
- 98.3.1 高校卒業式 岩本副会長出席
- 98.4.12 第2回 名簿小委員会 ①巻頭写真選択
- 98.4.20～25 『柏』31号発送
- 98.5.8～10 高校体育祭 同窓会賞(図書カード贈呈)
- 98.5.15 第1回 小委員会 ①武蔵クラシック開催要領確認
②名簿関連日程等確認
- 98.6.25 同窓会理事 3期生大田庄司氏 永眠
- 98.7.3 第4回 理事会 ①名簿発行部数決定
②名簿表紙の紙質変更
- 98.7.20 第5回武蔵クラシック開催
参加者22名(先生4名、会員18名) 於 東名御殿場カントリークラブ
- 98.9.3 第5回 理事会 ①柏苑祭参加内容検討
②海外在住会員への『柏』送付について
③50周年記念事業実行委員会設置 委員長 岩本副会長
- 98.9.18 第1回 柏苑祭実行委員会 〇任務分担、退任の先生への講演依頼確認
- 98.9.26～10.2 『柏』32号発送
- 98.10.9 名簿4号発行
- 98.10.10-11 母校 第40回柏苑祭 同窓会独自に参加(4回目)
退任される先生の講演 10日 向井先生、佐藤(善)先生、大橋先生
11日 中山先生、根本先生、西谷先生
- 98.10.30 第6回 理事会 〇第23回総会議案検討

限りのことをしたいと思っ
すので、お力添えをお願いし
小生の拙文、最後までおつきあ
いたいただきありがとうございます
た。弊ホームページの競馬予想の
コーナーでお待ちしております。

予想の腕に自身がおありの方、小
遣いがなくて競馬に行かれないけ
ど、せめて射倖心を楽しまたいと
いう方、首を長くしてお待ちして
おりますので、是非ご参加のほど
お願いいたします。

1997年度(1997年10月1日～1998年9月30日)決算報告

＜収入の部＞			
科目	予算額	決算額	内 容
入会金	810,000	792,000	45期生262名 その他 2名
年会費	2,100,000	1,651,000	45期生262名 その他288名
引継金	2,055,727	2,055,727	前期より
雑収入	14,000	3,777	預金利息
合計	4,979,727	4,502,504	

＜支出の部＞			
科目	予算額	決算額	内 容
会議費	120,000	79,437	理事会6回
総会費	200,000	139,726	総会援助金、備品
『柏』制作費	50,000	9,502	編集委員会
通信費	1,000,000	1,273,475	『柏』30号(@80×3102+@90×5206×0.91) 『柏』31号(@80×3912) 『柏』32号(@80×3484×0.91) その他 32,349
印刷費	850,000	865,880	『柏』30号 9000部 ¥278,200 『柏』31号 9000部 ¥328,590 払込取扱票 6400部 ¥46,536 窓付封筒 5000部 ¥81,900 その他 ¥130,654
発送アルバイト費	200,000	193,000	『柏』30,31号発送
事務費	50,000	86,175	一般事務費、同窓会賞資料分25枚
同窓会賞費	80,000	127,795	2クラス同点優勝(@1270×100枚)
小委員会費	40,000	0	小委員会運営費配布見送りのため
名簿整備費	50,000	50,000	名簿新規登録、修正、出力 他
柏苑祭費	30,000	16,809	講演謝礼、コーヒー 他
予備費	50,000	112,880	甲冠金3件 他
繰越金	2,259,727	1,547,825	来期へ繰越
合計	4,979,727	4,502,504	

1998年度(1998年10月1日～1999年9月30日)予算案

＜収入の部＞			
科目	予算額	内 容	予算額
入会金	810,000	46期生260名 その他 10名	
年会費	1,800,000	46期生260名 その他340名	
引継金	1,547,825	前期より	
雑収入	13,000	預金利息、他	
合計	4,170,825		

＜支出の部＞			
科目	予算額	内 容	予算額
会議費	90,000	理事会6回	
総会費	200,000	総会援助金	
『柏』制作費	50,000	編集委員会2回、取材費	
通信費	1,450,000	『柏』32号(@90×5,200×0.91) 『柏』33号(@80×3,500×0.91) 『柏』34号(@80×3,500+@90×5,200)×0.91 その他	
印刷費	640,000	『柏』32号 8,500部 ¥194,650 『柏』33号 9,000部 ¥200,000 封筒他 ¥120,000 その他 ¥125,350	
発送アルバイト費	200,000	『柏』32,33号発送アルバイト代	
事務費	50,000	事務費	
同窓会賞費	80,000	体育祭同窓賞	
小委員会費	50,000	小委員会運営費	
名簿整備費	50,000	名簿新規登録、修正、出力 アルバイト代	
柏苑祭費	50,000	講演謝礼、コーヒー、茶菓子	
予備費	150,000	予備費、ホームページ関連	
繰越金	1,110,825	来期への繰越および未取引当金	
合計	4,170,825		

上記のとおり1997年度の会計報告をいたします。

1998年11月13日

会計 上高正義(印) 今井章久(印)

会計監査報告

上記、会計内容を監査の結果、正しく表示、掲載されていることを認めます。1998年11月13日 会計監査 白井康雄(印)

懇親会報告



理事 神田清人(二十一期生)

総会に続いて開催された懇親会は、毎年恒例の行事となつていきます。懇親会は世代を超えて、「同じ釜の飯」を食った先輩や後輩の方々とは一度交流できる唯一の機会と思ひ、毎年参加しています。仕事上ではとても初対面では話すことができないであろう内容であっても、同じ担任の先生であったことで、初対面であることを忘れ打解け合った会話ができるのも同窓会ならではの光景です。私も、毎年同じ経験をしています。また、私にとって武高同窓会は一種のノスタルジーに触れる快感なのかもしれません。四十代になり、ふと遠い過去を振り返るとき、そこに「むさこう」があったとでも言えましよう。今年も色々な方々と知り合うことができました。これは後になってわかったことですが、私が所属していた釣りのクラブである「なます部」の初代設立者の方にお会いできました。設立当初のことなど知る由もなかったのですが、退任なさった顧問であった龍淵先生のご努力もあり、先日、「なます部」OB会の発足式が開催されました(一九九年二月二十日)。今年の幹事になった私は、次回のなます部の会は、今年十一月の懇親会と同時に開催することを考えています。それは、①皆さんと会いやすくする②会費を節約する(懇親会費用を払うだけで懇親会+OB会に参加できる)ことを意図してい

ます。皆さんもクラス会や同期会、またクラブのOB会を同窓会懇親会の日程調整をして同時開催することを今年考えませんか。不況の折り、経費節約に役立ちます。では、皆さん今年十一月にまたお会いしましょう。

理事会報告

事務局長 阿部俊夫(十四期生)

一、「名簿」四号発行

同窓会として四年ごとに「名簿」を発行しております。昨年九月に四号を発行。申し込みをいただいた会員の皆様に発送いたしました。今回は高校卒業生と共に中学校のクラス別卒業生一覧表を掲載、より充実した内容になりました。また、巻頭の写真集も皆様から好評の反応を頂いております。購入希望の方は学校の事務局(小野寺先生)又は同窓会事務局の阿部(連絡先は文末参照)までご一報下さい。

二、創立五十周年について

母校は一九五一年四月に高等学校一期生の入学式を行いました。(中学校は五年後に開校)以降、歴史を重ね二〇〇一年三月に満五十年を迎えます。

同窓会としては、五十年という節目を記念して何らかの式典または事業を行いたいと考え、検討委員会を設立しました。

記念式典または事業は、母校が主催し、PTAと同窓会が可能な限り仕事を分担していくものとして受け止めております。今後、母校からの呼びかけにいつでも応じられるよう準備をし

ていきます。

三、ホームページ開設について

近年のインターネットの進歩は目を見張るものがあります。その中で種々のホームページが情報の集積場所として脚光を浴びています。同窓会としては「柏」を通じて会員の皆様との交流を図っておりますが、印刷・郵送費用から年二回の発行が限度です。そのためにタイムリーな情報が不足がちでした。

母校では小村先生を中心にホームページ開設の準備作業が始まっております。同窓会も開設準備委員会の担当者を決め、実務的な内容の打合せを開始しております。

四、その他

二項で母校の創立五十周年の報告をいたしました。同窓会も二〇〇〇年の十一月に第二五回総会を開催いたします。同窓会の二五周年と母校の五十周年、同時期を迎えることになりました。幸いにしてあと七〇〇日近い日数があります。どのような企画が楽しいか、皆さんの参加をお待ちしております。

連絡先

会社 (株)日東電機製作所 技術部 阿部俊夫
TEL 〇三三三三三三二一五七七
自宅 TEL 〇三三三三七七一二一五八
自宅 E-mail: abe5pp@rcf.so-net.ne.jp

本年度の総会・懇親会は
十一月十二日(金)
午後六時三〇分より(遅刻可)
会場 東急ゴールデンホール(渋谷)



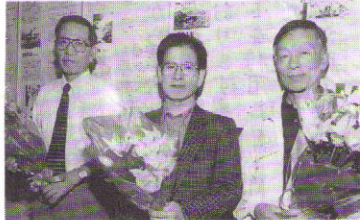
生徒を愛する心伝わる 柏苑祭での記念講話

理事 中澤 宏(十三期生)

昨年十月十一・十二日の両日、第四〇回柏苑祭が開催され、同窓会は昨年引き続き、小野寺先生制作の「ムサコ」のあゆみの展示と喫茶コーナー、退職される佐藤善一、中山茂雄、西谷

優、根本志郎、向井常雄の各先生方による記念講話を行った。中山先生は、社会科教師らしく「ムサシ」の四〇年」と題する年表を用意、担任を務めた八期に分けて、印象に残る出来事や生徒像を語った。

より良い教育環境を実現するための職員組合結成準備と公然化、スキー学校での骨折とそれが縁となった結婚、学園紛争と生徒との交流、交通事故で九死に一生をえて補償金を頭金にマイホーム購入、飲酒事件で退学した生徒から初給料で湯呑茶碗プレゼント、一人の退学処分もさせなかった集団万引き事件処理、自転車クラブ発足、卒業お別れパーティー、班別奈良見学旅行、「ジェットコースター」で柏



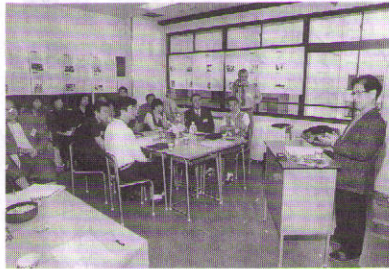
永い間お世話になりました。
左より中山・根本・西谷の各先生

第40回柏苑祭に参加

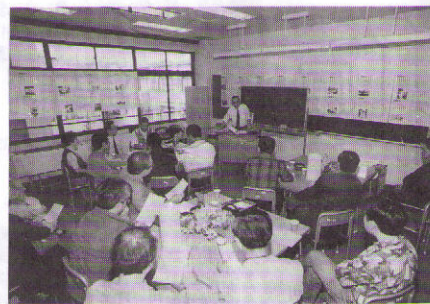
苑祭賞受賞、長年の念願がかなった八ヶ岳サマースクール実施、ベンチを生徒と共同制作などなど。生徒と心をいかに通わせるか腐心してきた先生像が浮かび上がった。

八年前に脳こうそくで倒れた根本先生は職場復帰したが、余力を持って辞めた方がいいとの判断で今春、定年まで二年を残して退職される。根本先生は高中正義やビショップ君をはじめ受け持った生徒のエピソードを紹介、「退職後なにをするかすでに決めていいる」と楽しそうに語った。

西谷先生は、「挫折を繰り返して、入った大学(東京教育大学)でも望みをやりとげられなかった」という思いを抱きながら、不得意だった体育を飯のタネに選んだ。でも「もしか先生」だったと、当事を回想。後からきた渡辺正行(日体大、オリソンピック候補選手)先生から、「自分は器械体操でトップにいるが、それは底辺の体操人口に支えられているのです。そこを西谷先生がつくるんじ

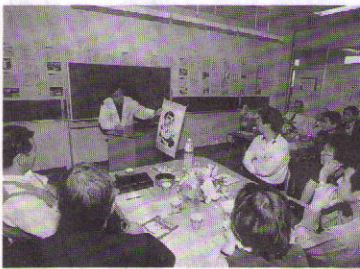


こんな授業が聞きたかった!



で揚げようとしたが二度とも失敗してしまった。もし空に上がっていたら見事だったろう」と笑顔で語った時には、いつもの西谷先生に戻っていた。

第一日目に行われた、佐藤善一、向井常雄先生の講話は聞くことができなかったが、資料によれば専門の考古学や物理も交えた面白い話だったようだ。今回も含め、退職された先生方の原稿が同窓会機関誌「柏」に掲載されれば興味を持つて読まれるだろう。後日、機関誌「柏」編集部より依頼させていただきます。お話しただいた先生方にお礼申し上げます。



懐かしい顔

当欄では毎号、皆様から多大なるご協力をいただき、懐かしい同窓生の現況・想い出などを掲載させていただいております。

今回はインターネットを利用しE・M・A・I・L投稿をお願い致しました。

- ①卒業年度 ②最終学年時の担任

三井恒夫

- ①二十一期生(昭和四十九年三月卒)
- ②高野陽一先生

もう、高校を卒業して四半世紀(一)経とうとしています。今でも秋といえば柏苑祭のざわめきが聞こえてくるような気がします。当時は中学鉄道部、高校鉄道研究会(当時は高校に鉄道のクラブが無かったので作ったのです)に籍を置き忙しくも楽しい秋を過ごしていました。鉄道部といえば思い出すのが顧問をして下さっていた小泉先生です。皆で撮影旅行に行くといえは一緒に来ていただき、一緒に駅のベンチで寝袋で寝たことなど懐かしい思い出です。もうお亡くなりになられて十年以上経つのですね。天国でも寝袋担いで鉄道旅行しているのでしょうか。今はいい時代です、鉄道研究部の様子もホームページで見ることが出来るのですから。今年もぜひ柏苑祭の様子を紹介してください。皆さんのご活躍を応援しています。

小倉靖之

- ①二十六期生(昭和五十四年三月卒)
- ②西野晴之先生

《人生を決めた助言》

工大通信科を経て、オリンパス光学入社。現在アパレル向けシステム開発&運用に従事。携帯電話とリブレットを携行する毎日です。大学一年でパソコンに出会い、入社一年目でCPU回路設計。以来パソコンと寝起きを共にしています。ヤクルトファン歴三十一年に次に長いパソコン歴十九年です。インターネットにも、ちょっと飽きてきた今日この頃です。

高三秋、進路に悩んで校長室の扉を叩き、石川静一先生に相談。「コンピュータやりたきや通信科がいい」の一言で通信科に決意。当時コンピュータがここまで進化を遂げるとは予想だにせず、この助言は私の人生を決めた一言。今も感謝しています。(筆名…単純)

田中謙吾

- ①三十二期生(昭和六十年三月卒)
- ②照井郁夫先生

「今の自分があるのはテニス部のおかげ」

時が経つのは早いもので、私がムサコを卒業して十年以上の年月が過ぎていきました。時々、会社へ行く途中の小田急線の中で襟に「柏」のバッチを付けた現役ムサコ生を見ると、あの頃の思い出が蘇ってきます。

私は、中学、高校とテニス部に所属しておりました。中学入学当時は現在の第二グラウンド

原稿募集

編集委員会では、同窓生の近況等、皆様の原稿を待っています。“懐かしい顔”コーナー・随筆・漫画等々幅広く記事を探しています。

問合せ 清水 (14期生)
TEL.03-3595-0058 FAX.03-3595-0021
神田 (21期生)
E-mail: kanda@tka.att.ne.jp

(通称「二グラ」の手前側(砵中側)にテニスコートがありました。土のコートでラインもテープではなく石灰水で引いていた覚えがあります。練習内容もかなり厳しく、山中湖の合宿では真夏だというのに「水は飲むな」とか、うさぎ跳びしていたら「気合が入っていない」とボールを叩き込まれたり…。何でこんなことをするんだ?と思いつつも、その厳しさのおかげで、世田谷の大会で優勝したり、都の大会でベスト四に入ったりと、それなりの成績を残すことができ、良い思い出となっています。また、テニスは技術よりも精神面が勝負のスポーツなので、社会人になった今、仕事で徹夜しても、「あのテニス部の練習に比べれば楽なもの」と思えてしまう、そんな私を鍛えてくださった当時顧問の小野寺先生、尾崎先生、中野先生、長谷川先生、そして諸先輩方…、本当に有り難うございました。

住友威夫

①四十期生(平成五年三月卒)
②伊藤公紀先生

ムサコウには中学からいるから今年でもう十二年も五島育英会にお世話になっていきます。(今までの人生の半分!)実は来年から、スポーツ学専攻でアメリカに留学する事を考えていて、英文の成績証明書が必要と知って、高校に行ったらすっかり綺麗になっていました。(学生の校舎は、ほぼそのままでした)久しぶりに校舎内を歩いていたら、廊下でキャッチボールやって窓ガラス割ったり、英語の田中先生が竹刀をもって授業のたびに誰かがボコボコやられてたりしていたのを思い出しました。部活はゴルフ部でよくあの周辺五キロくらい走ったり、体育館の裏の砂場にあるネットのところで練習したりしたのを覚えています。(江島先生元氣かな?)何にしても、ムサコウの附属で一番良かったなあと思うのは、生徒と先生の距離が近くて、いい仲間がいて暖かい(熱い?)感じがした事です。

近藤 淳

①四十期生(平成五年三月卒)
②田口哲夫先生

《ムサコウ卒業後の柏苑祭の本当の楽しみ》
生徒と先生との交流が卒業後も盛んなのは、ムサコウの特徴といえるだろう。私はムサコウを卒業して大学に行き、今は大学院に在籍している。その間できるだけ柏苑祭に顔を出している。目的は先生に会いに行くことである。先生

に会いに行くという事の本当の目的は、飲みに行っておごってもらうことである。伊藤先生、山本先生には何度もお世話になり、荒井先生とは朝までカラオケに行った。おごってもらったにムサコウ生で良かったとしみじみ思う。あとは田口先生である。田口先生は私の高校三年の担任で、大学の推薦をとるときにお世話になった。推薦が決まったとき、田口先生は「そのうち飲もう」とおっしゃったのだが、都合がつかず、ジュースしかおごってもらっていない。田口先生、今度飲みに来て行ってください。

佐藤 朋己

①三十九期生(平成四年三月卒)

＝第8回武蔵クラシック開催のご案内＝

開催日	平成11年7月20日(祝)
会場	未定(関東近県)
プレー代	各自負担(金額未定)
会員	3,000円(懇親会費は別途)
参加人員	定員20名(5組)予定

●連絡先 実行委員 宮原 茂(24期生)
TEL 03-3703-1541
FAX 03-3703-9654

是非、今年も奮ってご参加下さい。
ご連絡をお待ち申し上げます。

②木村保雄先生 《ムサコウの思い出》

私の、ムサコウの思い出といえばやはり自由な校風で学んだ事だと思います。勉強は、ほとんどしていません(校舎は、大変汚いのですが先生方が心の広い方ばかりで我々悪がき達をとて可愛がっていただきました。教室では、Tシャツに単パン姿、授業にでて漫画を読んでいる人、寝ている人、話をしている人がいても特に怒られませんでした。しかし、教育熱心では無いというわけではありませんでした。本当に悪い事は叱り、学校行事の時は、生徒と一緒にやって動き回っておられました。友達にも恵まれ本当に楽しい六年間でした。私は、卒業して七年経ちますが今でも同級生達とムサコウでバスケットやアメフトをやっております。このようなすばらしい学校に行けた事を誇りに思うと同時に豊かで広い心を持たせてくれたムサコウに感謝したいと思います。

* いかがでしたか? 何分インターネットによる投稿となりますと利用者層の現在年齢が四十歳代(二〇期生)以降から比較的新しい卒業生からに限られました。今回、今欄には数多くのメールを頂戴いたしました。折角メールを頂戴し、掲載されなかった方々には順次、従来の投稿方式と並行しながら次回以降、掲載させていただきます。本当に有難うございました。

武蔵ソーラーカー プロジェクト 『柏会』



母校出身で現在、武蔵工大のOBでもある飯塚悟(S63.3卒)氏が上記プロジェクト代表として同大生、同大OB、同大自動車部などの協力を得て、1999年オーストラリアで開催されるソーラーカー世界大会参加を目指している。学生の主自的な「もの作り」の活動を通じ、技術者としての基礎を培い、付属生と大学生卒業生が相互に絆で結び合い、現役生の将来への展望を見つけてもらいたいと昨年の総会懇親会の席上で訴えた。皆様のご支援を!

《連絡先》 E-mail:satorui@roy.hi-ho.ne.jp



退任役員紹介

副会長
中原 章(二期生)

理事
山口 高司(十六期生)

右二名の役員は平成九年度総会をもって退任されることになりました。永い間の同窓会へのご尽力に感謝申し上げます。中原副会長においては、本会創設期会長代行をお願いしたこともありましたが、今後とも活躍お祈り申し上げます。

編集後記

行く末の不透明な昨今、同窓生の皆様どのようにお過ごしでしょうか。先日、私こと千葉・木更津に行く都合が有り川崎から海底トンネルに「あの問題大あり」のアクアラインでさえ、「海ホタル」に着く少し手前からは海上の明るい兆しが見えてくるのに何故現実には……。

巻頭は我が母校の二〇〇〇年問題を現職の母校の先生にお願いした。二〇〇一年には二十一世紀を迎えるのだが一〇〇〇年に一度(千年紀という)のもっと大きな節目であることを忘れてはならない。

辞典によると「世紀末」とは「ヨーロッパ、とくにフランスで十九世紀末にそれまでの信仰や権威が破られ、人々が心のよりどころを失い、懷疑(政治?)・絶望(金融?)・享楽(SEX・ギャングブル etc?)などの気分がみなぎった、こころ折れしも上野東京国立博物館ではルーブル美術館よりフランス革命を描いたドラクロアの絵画『民衆を導く自由の女神』が三月二十八日まで展覧中である。時代背景をラップさせ考えながら是非、鑑賞したい。

「インターネット」。戦後米国が戦争経済(軍需産業振興)による覇権国として君臨。世界情勢の変化(冷戦構造が崩壊)による転換媒体の一つ(もう一つは金融)として見え隠れする。

視覚メディアが増加している今日この頃。目で見えるもののみで判断せず、既定概念・固定観念から脱却することで二十一世紀を迎えるための準備体制作りとしたい。財政難に苦しむ同窓会に今後も暖かいご支援をお願い申し上げます。

編集責任者(清水 十四期生)

住まいの基本。 ミサワホーム 100年住宅 Century Housing

南極で築後30年でも大丈夫

- ・南極では世界各国がミサワの技術に注目しています。
- ・最大風速59.2m/秒のブリザードにも耐える。極限の技術を実証したミサワホーム。
- ・南極では築後30年経った建物でも、構造体には十分な余力があります。
- ・今年もミサワホームの技術者が南極に向かいます。

武高卒業生の私が担当します。

住まい3代・100年のおつきあい
MISAWA 東京ミサワホーム

市場開発部

岡田光雄(S44卒)

TEL:(03)5272-6188

FAX:(03)5272-6122

<http://www.misawa.co.jp/tokyo/>